



新潟県立糸魚川高等学校

1 学校概要

- (1) 所在地 〒941-0047 新潟県糸魚川市平牛248-2
えちごトキめき鉄道えちご押上ひすい海岸駅下車、徒歩10分
- (2) 電 話 025-552-0004
- (3) FAX 025-552-4107
- (4) HP <http://www.itoigawa-h.nein.ed.jp/>
- (5) 校長名 須戸 修
- (6) 課 程 全日制
- (7) 創立 明治39年4月19日
- (8) 生徒数 343人(令和7年4月1日現在)

学科名	1 年		2 年		3 年		計	
普通科	男	女	男	女	男	女	男	女
	67	56	55	57	63	45	185	158
	123		112		108		343	

- (9) 入学者選抜(令和8年度予定)

学科	募集定員	特色化選抜	一般選抜	
			学校独自検査	
普通	120	実施しません	調査書：学力検査（3：7）	実施しません（予定）

*なお、令和8年度入学者選抜については10月末以降正式発表します。

2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、教育目標

(1) スクール・ミッション

地域と協働した探究活動により、郷土愛を育み、社会に貢献する人材を育成する学校

- ① 地域と協働した探究活動をとおして、グローカルな視点を培い、地域への愛着心を醸成し、社会に貢献できる人材を育成する。
- ② 個に応じた学習指導、キャリア教育の充実を図り、学力の向上に努めるとともに、主体的に進路実現に取り組む資質や能力を育てる。
- ③ 「勤儉力行」を理念とし、教育諸活動により、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、未来を創造し、たくましく生きる力を育む。

(2) スクール・ポリシー

★グラデュエーション・ポリシー

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 地域と協働した探究活動をとおして、多角的な視点から地域の課題を探究する力を培い、地域へ貢献する心と実行力を育成します。
- ② 個別最適な学びと協働的な学びをとおして、多様な価値観を受け入れ、他者を尊重する心と共に成長し続ける姿勢を育成します。
- ③ 学校生活と地域活動をとおして、体力・気力・知力を充実させ、豊かな心とひたむきに努力を続ける忍耐力を育成します。

★カリキュラム・ポリシー

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 生徒一人ひとりの進路希望達成のため必要な科目を配置し、ICT機器を活用して、主

体的、協働的な学習活動を展開します。

- ② 望ましい職業観・勤労観を涵養し、社会に貢献する人材を育成するため、生徒一人ひとりに応じた進路指導・キャリア教育を推進します。
- ③ 豊かな人間性を育み、基本的生活習慣を確立するため、学校行事や部活動、ボランティア活動等をはじめ教育活動を通じて、体力・気力・知力を充実させます。
- ④ グローバルな視野を身につけ、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成するため、地域や保護者と連携し、地域課題に取り組む課題解決型の学びを充実させます。

★アドミッション・ポリシー

～このような生徒を求めています～

- ① 「勤儉力行」の校訓を理解し、志を高く持って何事にも粘り強く取り組む生徒
- ② 他者を尊重・協調しつつ、互いに切磋琢磨し、自らを高めることに努力を惜しまない生徒
- ③ 郷土愛を胸に、地域社会はもとより、日本と世界に貢献したい志のある生徒

(3) 教育目標

- ① 正しい判断力と豊かな心情を養い、勤儉力行の生活習慣を養う。
- ② 自主独立の精神を高め、個性の伸長を図る。
- ③ 基礎学力の向上に努めるとともに創造性の高揚をめざす。
- ④ 生徒としての自覚を通じ、誠実な社会人となる資質を育成する。

(4) 学校運営方針

生徒一人ひとりの進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、教育活動（学習指導、進路指導、生徒指導等）の充実を図り、地域協働推進校（アソシエイト）として、地域・保護者から信頼される学校づくりを行う。

(5) 重点目標

- ① 生徒一人ひとりの進路希望達成のため、徹底した学習指導・学力向上対策を行う。
- ② 夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。
- ③ 基本的な生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。
- ④ 個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。
- ⑤ 信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。

3 教科指導等について

- (1) 単位数（教科 31、LHR1、総合 1）
- (2) 基礎力の定着、応用力の向上をめざし、55分授業を行っています。
- (3) 数学と英語で学年により習熟度別授業を行っています。
- (4) 2学年では、進路希望に応じて選択科目（地歴・公民、理科）があります。
- (5) 3学年では、文系、理系とともに2単位の選択科目を設け、進路希望の実現をめざします。
- (6) 「総合的な探究の時間」（3単位）では、SDGs や地域課題をテーマとした探究活動に取り組みます。
- (7) 令和7年度から、県教育委員会の指定により、ICT機器等を活用した遠隔授業を実施しています。

校時表	
SHR	8:35- 8:45
1限	8:50- 9:45
2限	9:55-10:50
3限	11:00-11:55
	昼休み
4限	12:40-13:35
5限	13:45-14:40
6限	14:50-15:45

4 学校行事・部活動について

学校行事は、あおい祭（体育祭）、クラスマッチ（球技大会）、修学旅行、亀陵祭（文化祭）、スキー行事など多彩です。生徒会が主体的に行事を計画し、全員が積極的に参加しています。

あおい祭は部門毎のコンクール制をとっており、3つの団に分かれ全員が完全燃焼します。

部活動は運動部が8、文化部が4あります。どの部も大変熱心に活動しています。今年度、文化部の全国大会である全国高等学校総合文化祭の弁論部門に出場が決まっています。

主な学校行事	
4月	始業式・入学式
6月	あおい祭
7月	クラスマッチ
9月	2年修学旅行
10月	マラソン大会
	亀陵(きりょう)祭
2月	1年スキー行事
3月	卒業式

5 進路指導について

本校では大部分の生徒が上級学校への進学を希望しているため、早い時期から基礎学力定着のために補習の設定や模試の活用に力を入れています。

1年生の新入生オリエンテーションに始まり、1,2年生のオープンキャンパスへの参加、3年生の夏の学習会、特編授業、各種講演会などを実施しています。進路関連行事として主なものは次のとおりです。

補習	1～3年まで長期休業中、3年は平日の放課後補習もあります。
模擬試験	校外模試は1年4回、2年4回、3年10回あります。
進路講演会	生徒または保護者対象に実施しています。
学習会	3日間、3年生の夏休みに実施します。

6 令和6年度卒業生（107名）の主な進学先、就職先

（1）大学（進学 78）

国公立大（進学 19、合格 21）

新潟大(11)、茨城大、富山大、信州大(2)、新潟県立看護大、新潟県立大(2)

私立大（進学 59、合格 116）

東北福祉大、亜細亜大、大妻女子大、北里大、杏林大、国士館大、駒澤大、大正大、大東文化大(2)、中央大、東海大、東洋大(4)、日本大、立正大、神奈川大(2)、関東学院大、新潟薬科大、新潟青陵大、新潟医療福祉大(3)、金沢工業大(5)など

（2）短期大学（進学 3、合格 3）

新潟青陵大短期大学部、富山短大、金沢学院短大

（3）専修・各種学校等（進学 18、合格 18）

新潟病院付属看護学校、上越看護専門学校、東京女子医科大学看護専門学校、大原簿記公務員専門学校(2)、上越公務員・情報ビジネス専門学校(2)など

（4）就職（8）

糸魚川市職員(2)、糸魚川市消防、田辺工業、デンカ、信越ポリマー糸魚川工場、日本郵便、イチコ

（5）進学準備・その他（0）

7 教育課程表

教 科	科 目	標準 単位	1年	2年		3年		単位数		備 考
				文系	理系	文系 共通	選択	理系 共通	選択	
国 語	◎ 現代の国語	2	2							13~ 15
	◎ 言語文化	2	2							
	論理国語	4		2	2	2		2		
	文学国語	4		2		2				
	古典探究	4		2	2	3		3		
	☆ 国語理解								▼ 2	
地 理 歴 史	◎ 地理総合	2	2							9
	地理探究	3			2			3		
	◎ 歴史総合	2	2							
	日本史探究	3		◇ 3						
	世界史探究	3		◇ 3						
	☆ 日本史研究					◇ 4				
公 民	☆ 世界史研究					◇ 4				
	◎ 公共	2		2	2					2
	倫理	2					◆ 2			
数 学	政治・経済	2				4				16~ 18
	◎ 数学 I	3	3							
	数学 II	4	1	3	3					
	数学 III	3						△ 3		
	数学 A	2	2							
	数学 B	2		2	2					
	数学 C	2					◆ 2	2		
	☆ 数学総合					3				
	☆ 数学探究 I								▼ 2	
理 科	☆ 数学探究 II						△ 3			18
	◎ 物理基礎	2	2							
	物理	4			□ 2			□ 4		
	◎ 化学基礎	2		2	2					
	化学	4			2			4		
	◎ 生物基礎	2	2							
保 健 体 育	生物	4			□ 2			□ 4		18
	☆ 理科総合			1		3				
芸 術	◎ 体育	7~8	2	3	3	2		2		9
	◎ 保健	2	1	1	1					
外 国 語	○ 音楽 I	2		■ 2	■ 2					2
	○ 美術 I	2		■ 2	■ 2					
	○ 書道 I	2		■ 2	■ 2					
家庭 情 報 専門 体 育	○ 英語コミュニケーション I	3	4							18~ 20
	英語コミュニケーション II	4		4	4					
	英語コミュニケーション III	4				4		4		
	論理・表現 I	2	2							
	論理・表現 II	2		2	2					
	論理・表現 III	2				2		2		
合計	☆ 英語探究					◆ 2		▼ 2		18~ 20
	家庭基礎	2	2							
教科	○ 情報 I	2	2							2
	○ スポーツ II	2				◆ 2				
共通・選択別単位数			31	31	31	29	2	29	2	
教科単位数合計			31	31	31	31		31		93
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1	1		1		3
ホームルーム活動		3	1	1	1	1		1		3
合計単位数			33	33	33	33		33		99
◎：必履修科目					文系地歴選択、◇より1科目、2、3年継続履修			3年：地歴・理科選択は2年からの継続		
○：必履修選択科目					理系理科選択、□より1科目、2、3年継続履修			3年文系：◆より各1科目		
☆：学校設定科目					2年：芸術選択、■より1科目			3年理系：△及び▼より1科目		



新潟県立糸魚川白嶺高等学校

1 学校概要

- ・所在地 〒941-0063 新潟県糸魚川市清崎9番1号
えちごトキめき鉄道 糸魚川駅 徒歩12分
- ・電話 025-552-0046
- ・FAX 025-553-1102
- ・URL <http://www.itoigawahakurei-h.ed.jp/>
- ・校長名 梅田 均
- ・課程 全日制
- ・創立 昭和36年4月



【生徒数】 304人（令和7年4月1日現在）各年次3クラス

学科名	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総合学科	59	43	56	42	51	53	166	138
	102		98		104		304	

【入学者選抜（日程は令和8年度入学者選抜）】

総合 学科	一般選抜	
	学力検査	
	令和8年3月4日（水）	
	調査書：学力検査 = 4 : 6	

※令和8年度募集学級及び募集人数は10月末に県教育委員会より公表予定です。

【教育目標】

- 1 「真・善・美」の校訓に則り、郷土を愛し、心身ともに健康で豊かな人間性を養い国際化に対応した意欲的な人材を育成する。
- 2 生徒、保護者、地域の期待と信頼に応えるため、生徒の希望進路実現に取り組むとともに、進路の学習活動をとおして地域に貢献する学校を目指す。
- 3 糸魚川白嶺高等学校の生徒としての誇りを持ち、高校生活を過ごせる学校づくりを目指す。

2 スクール・ミッション（社会的役割等）

【地域に密着し、産学官の連携により、地域社会の発展に寄与する人材を育成する学校】

- ・地域に密着した学校として、産学官の連携により、地域社会の発展に主体的に寄与する人材を育成する。
- ・ジオパーク地域理解探究活動をとおして、地域の防災減災に貢献する力を育成する。
- ・「真・善・美」の校訓に則り、郷土を愛し、心身ともに健康で豊かな人間性を養い、国際化に対応した意欲的な人材を育成する。



3 スクール・ポリシー（三つの方針）

★グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

校訓 「真善美」

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ①地域と連携する活動をとおして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。
- ②防災減災学習や地域理解学習をとおして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。
- ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。

★カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記資質・能力を育成するために、このような教育活動を行います～

- ①基本的生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をとおして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。

- ②3年間の系統的で継続的な「白嶺H S J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。
- ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

★アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

～このような生徒を求めています～

- ①郷土を愛し、前向きで、豊かな人間性と思いやりのある生徒
- ②総合学科の特色を活かし、進路希望の実現に向けて主体的に努力する生徒
- ③地域の課題を学び、地域の活性化に向けて積極的に貢献しようとする生徒

4 学校生活

（1）学習活動

- ・週30単位時間（1単位時間50分）
- ・2学期制で単位制の総合学科
- ・月曜日～金曜日6限授業
- ・数・英は1年より習熟度別授業の実施
- ・教科「産業社会と人間」（1年次）では、自分の適性や生き方を考え、講演や企業・学校見学をとおして将来の進路について考えます。

（2）学校行事・部活動

① 主な学校行事

- 4月 始業式、入学式、生徒会オリエンテーション
- 5月 生徒総会、第1回定期考查
- 6月 体育祭
- 7月 第2回定期考查、2年生インターンシップ、夏期進学補習（前期）
- 8月 夏期進学補習（後期）
- 10月 第3回定期考查、終業式・始業式、中学生体験入学
- 11月 白嶺祭（文化祭）、生徒会役員選挙
- 12月 第4回定期考查、2年生修学旅行、球技大会
- 1月 1年生スキー授業
- 2月 第5回定期考查、白嶺防災フォーラム
- 3月 卒業式、終業式

平常日の校時表		
S H R	8:35	～ 8:45
1 限	8:55	～ 9:45
2 限	9:55	～ 10:45
3 限	10:55	～ 11:45
4 限	11:55	～ 12:45
昼休み	12:45	～ 13:30
5 限	13:30	～ 14:20
6 限	14:30	～ 15:20
S H R	15:20	～ 15:25
清 掃		



白嶺防災フォーラム

② 部活動の状況

これまでに卓球部、陸上競技部、空手道部などがインターハイに出場しています。伝統の野球部は甲子園に春1回、夏2回出場しています。吹奏楽部や軽音楽部などの文化部も、地域と皆さんと連携して活躍しています。令和元年度は吹奏楽部が日本管楽合奏コンテスト全国大会高等学校S部門で優秀賞を獲得しました。令和3年度は吹奏楽部が全国高等学校総合文化祭に出場、令和4年度は軽音楽部が全国高等学校総合文化祭に、空手道部が全国選抜大会に出場しました。

- 運動部（9）…バスケットボール、バレー、陸上競技、野球、卓球、バドミントン
空手道、柔道、サッカー
- 文化部（8）…美術、写真、調理、吹奏楽、華道、茶道、商業、軽音楽

5 進路状況

（1）進路指導と進路状況

就職希望者の就職率は10年連続100%です。地元企業の支援により、高い就職達成率を維持しています。また、4年制大学進学支援を充実させ、共通テスト、公務員試験への挑戦を応援し、卒業生が地域へ戻ってくる学校をめざします。

（2）過去4年間の進路状況

	令和3年度 卒業生111名	令和4年度 卒業生90名	令和5年度 卒業生94名	令和6年度 卒業生95名
4年制大学進学者	5名	12名	13名	9名
短期大学進学者	4名	1名	3名	1名
専修・各種学校進学者	57名	46名	33名	43名
就職者	45名	29名	44名	41名

(3) 令和7年3月卒業生の進路（4年制大学・短大・就職）

- 大学 新潟県立看護大学、新潟工科大学、金沢工業大学、群馬パース大学、北陸大学、上武大学
新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学
- 短大 上田女子短期大学
- 就職 糸魚川市役所 糸魚川信用組合 信越ポリマー(株)糸魚川工場 デンカ(株)青海工場 進工業(株)
明星セメント(株)糸魚川工場 (株)谷村建設 (株)伊藤建設 (株)カネタ建設 (株)笠原建設
日本郵便(株)信越支社 西日本旅客鉄道(株) 新潟太陽誘電(株) ANA スカイビルサービス(株)

6 総合学科の特色

(1) 総合学科とは 本校総合学科の特色は次の4点です。

- ①4つの系列から生徒の主体的な選択によって、大学進学から就職まで様々な進路希望に対応し、また、様々な資格取得や検定試験の受験が可能となるように取り組んでいる。
- ②情報教育を重視し、情報活用能力の育成を図っている。
- ③社会の国際化に対応し、コミュニケーション能力を身につける。
- ④超高齢社会に対応し、福祉や介護など基礎的知識を身につけることができる。

(2) 特色ある4つの系列（令和4年度入学生から）

文理系列: 大学・短大・専門学校等の進学や看護系への進学を希望する生徒および高校で学習する内容を深化させ、将来の進路に役立てたいと希望する生徒が主として選択します。

工業系列: 科学技術を活かした工業系への就職・進学を希望する生徒が主として選択します。

ビジネス系列: 社会の変化に対応した情報処理能力を身につけ、産業界のビジネスパーソンとして活躍するための基本的知識・技能・技術を学び、その成果を活かして就職や進学を希望する生徒が主として選択します。

生活福祉系: 超高齢社会の到来と福祉社会実現に対応するために必要な基礎的・基本的な知識・技能・技術を学び、その成果を活かして就職や進学を希望する生徒が主として選択します。

(3) 総合学科のQ&A

総合学科って？

好きな分野の勉強をして、自分の個性を伸ばしたい。自分の目指す進路に結びつく学習をしたい。興味のある分野にチャレンジして自分の道を探したい。そんな生徒のために柔軟に対応できる学科として「総合学科」は誕生しました。

多くの科目の中から選択できる？

4系列の普通科目と多数の専門科目の中から、自分の興味・関心や進路希望にあわせて効果的に学びたい科目を選択することができます。そして、学校で決められた単位数を修得すれば、卒業を認定するという単位制を取り入れた高校です。

自分で時間割を作る？

総合学科では自分の興味・関心や進路実現のために系列を選択し、それぞれの系列の中で自分の時間割を作つて学習します。

少人数学習の機会が多いって？

資格取得や検定試験は？

選択科目が多いので、少人数で学習する機会が多くなります。また、就職の切り札になる「検定取得」や「資格取得」を重視した実践的な学習をすることができます。

総合学科には新しい科目があるんですか？

どんなことを勉強するんですか？

総合学科独自の科目として『産業社会と人間』があります。自分の適性や生き方について考えることを目標とし、1年次で全員が必ず履修します。職業適性検査、講演会、企業見学、上級学校見学などを通じて進路を考え、2年次以降の系列選択・科目選択についてのガイダンスなど、重要な科目のひとつです。

自分の将来は自分で決めるの？

総合学科では、自分が何をやりたいか、何に向いているのかをじっくり考えながら自分の道を自分で決まる力をつけることができます。選択科目の中から、自分の進路に合わせた学習計画ができるようなガイダンス機能もカウンセリング機能も充実しています。

(4) 教育課程表

令和7年度教育課程表

新潟県立糸魚川白嶺高等学校

教科・科目		1年	2年	3年	単位 数 計
		必 履 修	選 択 履 修	必 履 修	
国語	現代の国語	2			4
	言語文化	2			
	論理国語		●2	●2	
	文学国語		2	2	
	国語表現		2	2	
	古典探求		4		
地理歴史	地理総合	2			4
	歴史総合	2			
	地理探求			4	
	日本史探求			4	
	日本史探求			4	
公民	公 民 共		2		2
	倫 理			2	
	政治・経済			2	
各学科に共通する各教科・科目	数学 I	4			4
	数学 II		4		
	数学 III			4	
	数学 A		●2	2	
	数学 B		2		
	数学 C			2	
理科	科学と人間生活		□2		4
	物理基礎		□2		
	物理			4	
	化学基礎		□-2		
	化学			4	
	生物学基礎	2			
保健体育	生物			4	
	地学基礎		□2	2	
	体育	2	3	2	7
芸術	保健	1	1		2
	音楽 I	△2			2
	音楽 II		2		
	音楽 III				
	美術 I	△2			
	美術 II		2		
外国语	美術 III			2	
	書道 I	△2			4
	書道 II		2		
	書道 III				
	英語コミュニケーション I	4			
	英語コミュニケーション II		4		
家庭	英語コミュニケーション III			4	
	論理・表現 I		●2		4
	論理・表現 II			4	
	家庭総合	2	2	4	
情報	情報報 I	2		2	2

教科・科目		1年	2年	3年	単位 数 計
必 履 修	選 択 履 修	必 履 修	選 択 履 修		
工業	工業技術基礎			4	0
	課題研究			4	
	実習			4	
	製図			2	
	工業情報数理			2	
	工業環境技術			2	
	原動機			2	
	電子機械			2	
	生産技術			2	
	社会基盤工学			2	
商業	工業化学生			2	0
	ビジネス基礎			2	
	マーケティング			2	
	簿記			4	
	財務会計 I			4	
	原価計算			4	
	情報処理			4	
	ソフトウェア活用			4	
	ビジネス・コミュニケーション			2	
	課題研究			2	
家庭	課題研究			2	0
	保育基礎			2	
	ファッショントレーニング			2	
	服飾手芸			2	
	フードデザイン			2	
福祉	社会福祉基礎			4	0
	介護福祉基礎			2	
	生活支援技術			2	
	介護総合演習			4	
	こころとからだの理解			2	
体育	スポーツ I			2	0
	スポーツ II			4	
	産業社会と人間	2		2	
	現代の国語セミナー			2	
学校設定科目	地理セミナー			2	0
	歴史セミナー			2	
	数学総合			4	
	数学セミナー I			2	
	数学 II 基礎セミナー			2	
	数学 II 発展セミナー			2	
	物理基礎セミナー			2	
	化学基礎セミナー			2	
	生物基礎セミナー			2	
	英語総合			2	
普通・専門教科	英語セミナー			2	2
	情報セミナー			2	
	普通・専門教科 単位数計	29	0	8	
総合的な探究の時間(白嶺タイム)		0	2	1	3
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	3
合計		30	31	30	91

注 □: 理科選択必履修科目 (「科学と人間生活」1科目または「物理

基礎」・「化学基礎」・「地学基礎」から3科目)

△: 芸術選択必履修科目 ●: 全員選択科目



新潟県立海洋高等学校

1 学校概要

- (1) 所在地 〒949-1352 糸魚川市大字能生 3040 番地
えちごトキめき鉄道能生駅下車、徒歩 10 分
北陸自動車道能生 IC より 5 分
- (2) 電話 025-566-3155
FAX 025-566-4781
- (3) E メール school@kaiyou-h.nein.ed.jp
- URL <https://kaiyou-h.nein.ed.jp>

- (4) 校長名 保坂 哲
- (5) 課程 全日制
- (6) 創立 明治 32 年 4 月
- (7) 生徒数 211 名 (令和 7 年 5 月 1 日現在)

学科名	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
水産科	64	16					64	16
水産資源科			28	7	29	7	57	14
海洋開発科			28	4	24	4	52	8
計	64	16	56	11	61	13	173	38

(8) 入学者選抜 (令和 6 年度実施)

学科	募集定員	特色化選抜			一般選抜		
		募集人数	分野や種目等	検査	調査書と学力検査の比重		
水産科	80	8	相撲（男子） 海洋・水産	個人面接	4 : 6		

※ 募集定員は令和 6 年度のものです。

※ 特色化選抜の募集人数は募集定員に含まれる。

(9) 校訓 「質実剛健」 「進取力行」 「水産報国」

(10) 教育目標

人間として調和のとれた育成を目指し、一般的な教養を高め個性を生かす教育の充実に努め、社会の変化に主体的に対応できる能力を育て、望ましい職業観、勤労観を育成する。

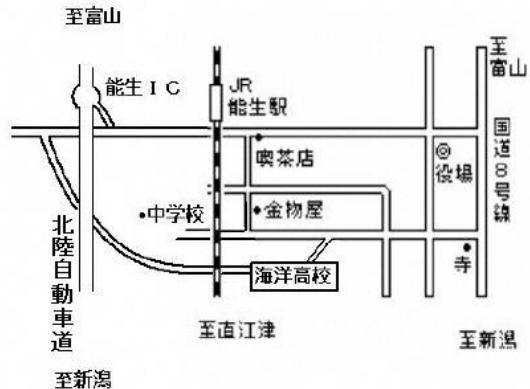
2 スクール・ミッション（社会的役割等）

- ・産官学連携の水産・海洋関連の実践的実習をとおして、地域振興に資する能力を育成する。
- ・創立以来、水産・海洋関連産業に有意な人材を輩出してきた学校として、地方創生時代において地域産業を牽引できる人材を育成する。
- ・確かな知識・技術を身につけた生徒を育成し、水産・海洋関連産業の発展に貢献する。

3 スクール・ポリシー（三つの方針）

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～



- ① 自ら課題を設定し、解決に至る過程を考え、実行する力と能力を育成します。
- ② 海をフィールドとした様々な体験学習を通して、自立性、協調性、心豊かな人間性、望ましい社会性、健やかな体を育成します。
- ③ 自己の在り方、生き方を考え、進路実現に向けて主体的に取り組む力を育成します。
- ④ 将来にわたって自他を尊重し、社会の一員として規範を遵守しようとする態度を育成します。
- ⑤ 礼儀正しく思いやりの心を持って人と関わり、集団に貢献できる力を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 生徒の特性や実情を鑑みた教育課程の充実に取り組みます。
- ② 全ての教科・科目において知識・技能の習得だけでなく、生徒同士で課題の解決を図る探究的な学習活動を開拓します。
- ③ 教科横断的な視点を取り入れ、体系的なキャリア教育を開拓します。
- ④ 学業・行事・部活動を通して、規範意識を高める教育活動を開拓します。
- ⑤ 地域産業と連携した教育活動を開拓し、他者との関わりや自己の生き方を考える教育に取り組みます。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

～このような生徒を求めています～

- ① 水産・海洋教育に関心を抱き、学びへの強い意志を持つ生徒。
- ② 社会に貢献する意識が高く、将来を見据え何事にも目的意識を持つ取り組む生徒。
- ③ 自らの進路実現に向けて目標を持ち、粘り強く努力し続ける生徒。
- ④ 基本的な生活習慣が身についており、意欲を持って学校生活を送ることができる生徒。
- ⑤ 互いの人格を尊重し、コミュニケーションを大切にでき、協調性や責任感を持った生徒。



4 校長として目指している学校像

(1) 学校運営方針

生徒一人一人の進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、水産・海洋教育の特色を活かすとともに、教育活動（生徒指導、学習指導、進路指導等）の充実を図り、地域・保護者に信頼される学校づくりを目指す。

(2) 重点目標

- ① 生命、安全、健康に配慮した学習環境づくりを図る。
- ② 基本的生活習慣を確立させ、気力・体力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。
- ③ ICT 活用と個に応じた指導や実習等により、学習意欲を高め、基礎学力の定着及び課題解決能力の向上を図る。
- ④ 産官学協働教育を推進し、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、目的意識を高めるキャリア教育の充実を図る。
- ⑤ 保護者・地域との連携の強化を図る。
- ⑥ スクールミッション「産学官連携の実習をとおして、地域振興と水産・海洋関連産業の発展に貢献する学校」の達成を図る。

(3) 重点項目

① 環境づくり

- 清潔で安全な学習環境づくり、使いやすい情報環境づくりに努める。
- 安全・安心に配慮した学習、健康や健全な精神の育成に配慮した学校行事を実施する。
- 「いじめを見逃さない、暴力を許さない」指導を徹底する。

② 人間性の育成

- 諦めず、粘り強く取り組む姿勢を身につけさせる。
- 社会の一員としての自覚を醸成するとともに、自分のことを大切にし、他人の気持ちを理解できる感性を育てる。

③ 基礎学力の定着、課題解決能力の向上

- 授業を確保し、学力の三要素の定着に向けた授業改善を図る。
- 生徒個々の実態に即した指導助言と、ICT活用により学習意欲を喚起する。
- 目的意識を持たせることにより、積極的に学習に取り組む姿勢を涵養する。

④ キャリア教育の充実

- 海洋教育の特色を生かし、産官学が連携した事業を推進し、高度な知識と技術の習得を図る。
- 様々な教育活動をキャリアパスポートに記録し、キャリア教育としての進路指導を充実させる。
- 学校と保護者が連携を密にし、情報共有する中で、望ましい勤労観・職業観を醸成する。

⑤ 連携の強化

- PTA総会や各種行事をとおして、保護者との意思疎通の機会を設定し、教育活動の一層の理解とする意識の啓発を図る。
- 生徒指導は、教師生徒間で完結するのではなく、保護者の理解を得て初めて完結する。
- 地域に貢献し、地域から愛され、地域と連携し共に発展する。

5 学校生活

(1) 特色ある学科・コース

新潟県唯一の水産高等学校として、広範囲な海洋教育と社会に信頼され、必要とされる人材育成を目指し、2学科・4コースを設置しています。

◆ 水産資源科

[資源育成コース]

有用魚介類の種苗生産・放流や養殖に関する学習を通して、水産食料資源の増大および海洋環境の保全や海洋の持続的な利用に関わる産業の発展を担う人材を育成します。

[食品科学コース]

水産加工品に関する知識と技術を化学的な観点から学び、HACCP認定工場における実習を通して、徹底した安全管理システムによる水産加工品製造と大量調理の方法を習得させ、食品産業の発展を担う人材を育成します。

始業	8:40
SHR	8:55～9:05
清掃	9:05～9:15
1限	9:15～10:10
2限	10:20～11:15
3限	11:25～12:20
4限	13:05～14:00
5限	14:10～15:05
6限	15:15～16:10
放課後	部活動・補習

◆ 海洋開発科

[海洋技術コース]

資源管理型漁業や船舶運航に関する知識と技術を習得させ、漁業生産活動や船舶の運航など本県の海洋資源の有効利用・管理・開発に関わる産業の発展を担う人材を育成します。主に沿岸漁業や内航船舶の業務に従事する後継者を継続的に輩出します。

[海洋創造コース]

海洋の開発と環境保全、海洋エネルギー、海底資源、海岸構造物の工事や機械・気設備などの知識や技術の学習を通して、海洋のトータルエンジニアを育成します。

(2) 海洋のスペシャリストを育てる多様な教育課程

- ① 始業は8時40分、終業は16時10分になります。多くの生徒が、放課後も部活動の他、進学や資格取得をめざして頑張っています。
- ② 2学年への進級時に進路希望に応じてコースの選択ができます。
- ③ 社会人としての意識を醸成するため、インターンシップ（就業体験）を実施しています。

4月	入学式
5月	30日航海実習 (3年海洋技術コース) スプリングトーナメント
6月	佐渡潜水実習 (3年海洋創造コース)
7月	カッターレース大会
10月	30日航海実習 (2年海洋技術コース) ダイビング実習 (2年海洋創造コース) 上級学校見学(1年)
11月	井陵祭(文化祭) 修学旅行(2年)
12月	ウインターフトーナメント
2月	スキー授業(1年)
3月	卒業式

(3) 海洋高校の特色を生かした諸行事

- ① カッターレース大会（海の体育祭）

本校独自の行事。当日は、能生漁港全体にカッターの漕ぎ手への声援が響き渡ります。また、シーカヤックやSUPボードなどの競技もあります。

- ② 航海実習

日本近海での30日漁業・航海実習（2・3年海洋技術コース）、佐渡へのダイビング実習（2・3年海洋創造コース）などを実施します。1年生は、全クラスで海洋丸の体験乗船を実施します。

- ③ 生徒意見・体験発表、課題研究発表会

課題研究の成果などの発表の場として実施します。

(4) 進路状況（令和7年3月卒業）

【進学】大 学：長崎、東京農業、長崎総合科学、立命館、福山、太成学院、富山国際、愛知学院、東海、日本体育、国士館、日本、吉備国際、

短大等：新潟工業、富山、宮古海上技術、波方海上技術

専修学校等：国際ペットワールド、日本さかな、新潟デザイン、新潟コンピュータ、国際調理製菓、大阪バイオメディカル、日本アニメマンガ、国際ビューティーモード、上越テクノスクール

【就職】県 内：新越部品（株）、田辺工業（株）、信越ポリマー（株）、（株）谷村建設、（株）ミタカ、信越化学工業（株）、直江津海陸運送（株）、平安セレモニー（株）、太陽誘電（株）、日本純良薬品（株）、（株）草間組、日立 Astemo（株）、（株）コメリ、（株）ウォロク、ナミックス（株）、（株）安田組、佐渡汽船（株）、新潟潜水興業（株）、福田道路（株）、くびき野森林組合、（株）U-NEXT HOLDINGS、（株）能澤技建、フリーランス

県 外：近畿大学水産研究所、神奈川潜水（有）、TPR（株）、播洋実業（株）、井筒まい泉（株）、大洋エーアンドエフ（株）、自衛隊

(5) 部活動の状況（8の運動部と3つの文化部）

【運動部】 硬式野球、男子バスケットボール、女子バレー、バドミントン、相撲、武道（柔道、ボクシング）、カッター、ダイビング

【文化部】 食品研究、海洋生物研究、芸術

令和7年度 新潟県立高田特別支援学校白嶺分校



所在地 糸魚川市清崎5番25号
校長名 上松 武
教頭名 小川 茂
TEL 025-553-9160
FAX 025-553-9161

E-mail b-hkri.school@nein.ed.jp

2025年度学級編制

学年 男女	普通			重複	計
	1年	2年	3年	重複	
男	4	5	4	0	13
女	2	3	2	2	9
計	6	8	6	2	22

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 平成14年5月 ・糸西に養護学校を希望する会(以下、希望する会)発足
平成15年7月 ・希望する会、ノーマライゼーションの観点から糸魚川小学校を候補に設定
平成16年3月 ・糸魚川小学校が教室配置を変更し、南校舎1階に教室配置を決定
9月 ・分校の名称について公募した結果、「ひすいの里分校」に決定
平成17年1月 ・入学者決定(14名) 改修工事着工
2月 ・入学者の保護者への入学説明会、糸魚川小学校職員及びPTAへの分校概要説明
3月 ・改修工事完了、引渡し、備品等搬入
平成17年4月 ・新潟県立高田養護学校ひすいの里分校 開校
小学部8名、中学部6名、計14名入学
平成22年4月 ・高等部普通科普通学級及び重複学級 新設(普通学級7名、重複学級1名入学)
平成23年4月 ・条例改正により、校名が「高田特別支援学校ひすいの里分校」に変更となる
平成25年4月 ・条例改正により、小中学部が糸魚川市へ移管され、高等部が県立の単独分校となり、学校名が「新潟県立高田特別支援学校白嶺分校」となる
平成25年8月 ・糸魚川白嶺高等学校敷地内に新校舎完成
平成25年11月 ・新校舎竣工記念式典を糸魚川白嶺高等学校を会場に挙行する
平成29年4月 ・普通科重複学級 設置
令和4年9月 ・創立10周年記念式典を挙行(コロナ禍のため生徒・職員のみで実施。保護者はリモートで別室にて参観)

(2) 教育課題

- ① 一人一人の自立に向けた「生きる力」の育成
② 社会参加を育む教育活動と地域に開かれた学校づくり

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

- 希望・・・夢と希望をもち、明るくたくましく生きる生徒
意欲・・・目標に向かってねばり強く取り組み、前進する生徒
自立・・・自ら考え、表現し、進んで行動する生徒

(2) 重点目標

社会人として必要な力を身に付け、社会参加と自立を目指す生徒を育成

<Aコース>

- ①社会生活に必要な態度・知識・技能を身に付けさせる。
②人と関わる力を高め、自他を尊重し思いやりの心を育む。
③ねばり強く学習活動に取り組み、困難なことにも立ち向かえる気力・体力を養う。
④体験学習を通じて見聞や職業観を広め、勤労意欲を高める。

<Bコース>

- ①身の回りのことを自分で行おうとする態度を養う。
②自分なりの方法で気持ちや要求を表現し、人と関わろうとする態度を養う。
③安定した気持ちで健康に過ごせるように、基本的な生活習慣を養う。
④自分の役割(仕事)が分かり、継続して行う力を養う。

安定した体調を維持しながら、人と関わる力や自ら活動しようとする生徒を育成

<C コース>

- ①学習や日常の活動に自分から進んで取り組む力を養う。
- ②友達や周りの大人と関わる力を高め、コミュニケーションの幅を広げる。
- ③生徒の体調を考慮した教室環境の中で、体調を安定させる。

(3) 努力事項

①学級経営 A・B・Cは、それぞれのコースの努力事項

- A・B 基本的な生活習慣の定着や、生活力の育成、社会経験の拡充を図るため家庭と連携
- A・B 責任を果たす力を育てたり、互いを尊重し助け合ったりする態度の育成
- C 安定した体調の維持を目指した家庭との連携

②学習指導

- A・B キャリア教育の視点を生かした学習内容
- A・B 個に応じた支援
- A・B 友達と関わりながら、コミュニケーションの取り方を学ぶ活動
- A・B 目標設定と振り返りの重視と、課題や困難なことにも立ち向かえるよう励ましや称賛
- C 実態に応じた学習内容
- C できた喜びやがんばりの共有
- C 実態に応じたコミュニケーション手段で表出し、自分の気持ちを伝える活動の設定

③生徒指導

- A・B 社会のルールやマナー、規範意識を高めたり、危険回避のための行動について考えたりする場の設定
- A・B 成就感や自己有用感をもてる活動、互いを認め励す場の設定
- A・B 生徒の悩みや不安に耳を傾け、全職員で指導
- C 家庭や福祉施設、福祉事務所など関係機関と連携した進路指導

④進路指導

- A・B 実体験を通した職業観や勤労観の育成と、働くために必要な事柄の繰り返しの指導
- A・B 一人一人の適性把握と、生徒・保護者への進路に関する助言・情報提供
- C 福祉サービス事業所との連携
- C 交流学習を推進

3 学習指導の大綱

A・B コース共通 (各教科、領域・教科を合わせた指導、総合的な探究の時間・道徳・特別活動)

領域・教科	指導の重点	具体的実践・方策
導 H R 日常生活の指	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けて、日常生活や社会生活に必要な基本的な習慣を身に付けることができるよう支援する。 ・学校生活全体を通して場をとらえ、繰り返し指導して定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の様子や保護者からの実態調査を参考に、生徒の実態を把握する。 ○個別の指導計画の作成、見直しの呼びかけと確認を行う。 ○保健指導部や給食指導部の目標（歯磨きや手洗いなど）と関連づけながら指導する。
作業学習	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことに喜びややりがいを感じ、進んで仕事に取り組む意欲や態度を育てる。 ・自分に分担された仕事は責任をもって最後までやり遂げる力を育てる。 ・働く上で必要なコミュニケーションスキルや道具の安全かつ正しい使い方、手順に沿った仕事の進め方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の目標を明確にして仕事に取り組ませるとともに、振り返りにおいて個々の成長や課題が明確になるよう支援する。 ○作業班の編成や作業種・作業工程を工夫し、仕事を成し遂げる達成感を味わえるように指導する。 ○校外での作業も含め、様々な道具を扱う経験や手順どおりに作業を行う経験を積ませる。

家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活に必要な知識・技能を、体験的・実践的な活動を通して育てる。 家庭での役割を自覚し、社会生活に通じる責任感を養う。 安定した職業生活を送るために必要な家庭生活能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の実態や将来の生活を見通した具体的目標を設定し、授業内容や教材を工夫する。 長期休業中に、生徒が家庭で仕事（家事）に取り組むための計画を立てさせる。（仕事人の実施）
社会生活	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会や各種施設の知識と利用の仕方を学び、体験活動を通して利用する力を養う。 進路学習や校内・職場実習に向けた事前学習を通して、社会生活や職業生活についての視野を広げ、勤労観・職業観を育む。 協同的な体験や困難な体験を通して、社会性やコミュニケーション能力、思いやりの心を育み、自己有用感を得られるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用体験の積み重ねができるよう、地域の各種施設に出向く機会を設定する。 実社会や職場をイメージし、卒業後に役立つよう教材や学習内容を工夫する。 卒業後の生活を意識した育てたい力を明確にし、各教科の目標や内容と関連付けて指導する。
A 国語・数学のみ	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な知識・技能を、生活に即した活動を通して段階的に育て、それらを活用する能力と態度を養う。 個々の実態に応じて学習内容や指導方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活や職業生活に必要な学習内容を生徒の実態に合わせて設定するとともに、他の教科・領域との関連を図って指導計画を立てる。 個々の実態に応じた課題を設定し、継続的に取り組ませる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に継続的に取り組み、気力・体力の向上を図るとともに、運動の楽しさを味わわせる。 心身共に健康に過ごすために必要な知識や態度を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた指導内容を設定し、適切な運動量の確保と多くの運動経験を積ませる。 「心と体の学習」の指導時間を確保し、生徒の発達段階に応じて、計画的に指導する。
教選科択	<ul style="list-style-type: none"> 表現及び造形・創作活動、運動を通して、生活を明るく豊かなものにする態度と習慣を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を表現したり鑑賞したりする楽しさや喜びを味わわせる。 興味・関心を高める題材を工夫し、運動に自主的に取り組ませる。 創作活動を通して、表現する喜びを味わわせる。
L 特別活動 H R	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動を通してそれぞれの役割を果たそうとする態度を育てる。 集団活動を通して規律を守り、友達とコミュニケーションを取りながら協力して活動する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動や学校行事の中で生徒の実態に合った役割活動の場を設定し、主体的な活動を促す。 学級活動や学校行事の中で生徒同士がかかわり合い、相手を思いやる心を育てられるような活動場面を設定する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 相手の人権を尊重し、思いやりをもって仲間とかかわる態度を育てる。 集団や社会の一員として、責任をもって行動する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が模範を示すとともに、生徒の意識を高め、適切な言動ができるように促す。 個々の実態に応じて指導内容を具体化し、家庭と連携しながら青年期の特性に応じた日常生活のルールを身につけさせる。
活動自立	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の実態に応じた指導を通して、自立のために必要な力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の心身の状態、発達段階、生活実態などを的確に把握・分析し、具体的な目標と指導場面を明確にする。 個別の指導計画に基づいた指導を行い、自分の課題を理解させ、解決できるよう支援する。
間 探 研究的のな 時 総合的のな時	<ul style="list-style-type: none"> 活動に主体的に取り組み、課題を見つけ自ら解決しようとする力を育成する。 様々な人と触れ合うことを通し、よりよい関わり方・社会性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットやパンフレットから情報を集めたり、相談したりしながら活動を進める機会を設定する。 様々な立場の人と関わる場を設け、関わり方を学べるようにする。

C コース

	指導の重点		具体的実践方策
自立活動	生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の育成や生活リズムの形成に努める。 日常生活動作の習得・改善を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の生活リズムが安定するよう日々の日課を作成する。 家庭と連携を図りながら、健康状態を的確に把握して、状況に応じた対応に努める。 生徒の障害の実態を踏まえた指導内容及び方法の追求、教材・教具の開発に努める。
	個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 運動機能の維持・向上を目指し、健康の増進に努める。 自分の課題に対して、進んで取り組もうとする気持ちを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、専門機関と連携をとりながら、障害や発達の状態を把握し、実態や場面にあった指導を行う。 興味・関心をもって課題に取り組めるよう、教材・教具の開発や支援の工夫を行う。

自立活動	からだ リズム ことば つぶくれる	・運動機能、感覚機能を育てる。 ・歌やリズムへの興味・関心を育てる。 ・自分の気持ちや要求を伝える力を育てる。 ・素材を五感で感じながら、素材の楽しさに積極的にかわろうとする気持ちを育てる。	○様々な身体の動きを体験し、全身で楽しみ、自ら動こうとする様な活動を工夫する。 ○様々なリズムやメロディーの楽しさを味わえるように、遊び、メロディー遊びを取り入れ、気持ちを表すことができるような活動を工夫する。 ○生徒が自力で操作できるよう、楽器等の教材・教具や支援方法を工夫する。 ○様々な言葉やコミュニケーションの楽しさを味わい、自ら表現しようとする活動を工夫する。 ○生徒の実態にあった表出手段に合わせた教材・教具を用いる。 ○身近な様々な素材を使い、全身で楽しみながら素材にかわろうとする活動を工夫する。 ○興味・関心がもてるよう、教材・教具の開発や支援方法を工夫する。
特活	集団活動や行事への参加を通して社会性を育てる。	○集団の場に応じた過ごし方に慣れ、楽しい雰囲気を味わえるようにする。	
道徳	身の回りの大人や友達となかよく過ごす。	○学校で一緒に生活する大人や生徒と触れ合う場を設定し、なかよく過ごせるようにする。	

4 生徒指導の大綱

(1) 重点指導目標

- ① 社会のルールやマナーなどの規範意識を高めたり、危険を回避するための行動について理解を深めたり考えたりする態度を育てる。
- ② 目標を意識し、達成しようとする態度を育てる。
- ③ 仲間を大切にし、よりよい学校生活を送るために仲間と助け合い、他者の意見を聞き入れたり自分の役割を果たしたりする態度を育てる。

(2) 重点指導目標達成のための方策

- ① 全校朝会や生徒集会などの全体指導の場で、問題と思われる事案について触れ、望ましい行動や対処の仕方について指導する。
- ② いじめ防止基本方針に基づく各授業の推進、悩みアンケートや教育相談による心のケア、人権学習による心育てを総合的に実施する。
- ③ 日常的な生徒の見取りや声掛けに努め、職員朝会や学部会で随時情報を交換し、共有したり、アンケート回答について複数で確認し、結果を共有したりする。
- ④ 各授業や行事、学級での諸活動において、一人一人が活躍する場や関わり合う場、相互評価の場を設け、生徒一人一人の成就感や自己有用感を育み、安心して学校生活が送れるようにする。

(3) 具体的な実践内容

- ① 生活目標の提示方法の工夫。 ② 生徒理解研修・生徒情報交換会の開催 ③ 長期休業中の生活指導 ④ 問題行動やトラブルの未然防止と対応（いじめに関する研修会の実施、トラブル発生時の場内連絡体制の確立と有効化） ⑤ インターネットや携帯端末利用方法に関する指導 ⑥ 生徒集会の運営 ⑦ 保健教育部との連携により、規則正しい生活や健康な体についての指導 ⑧ 長期休み前の防犯や危険回避、事故防止問題行動や非行防止に関する指導の実施

5 進路指導・キャリア教育

(1) 就労を目指した進路学習の取組

① 進路指導目標

- ・社会生活に向けて、必要な態度・知識・技能を育成する。
- ・一人一人の適性把握に努め、適切な進路選択と進路決定に活かす。

② 進路指導の努力事項

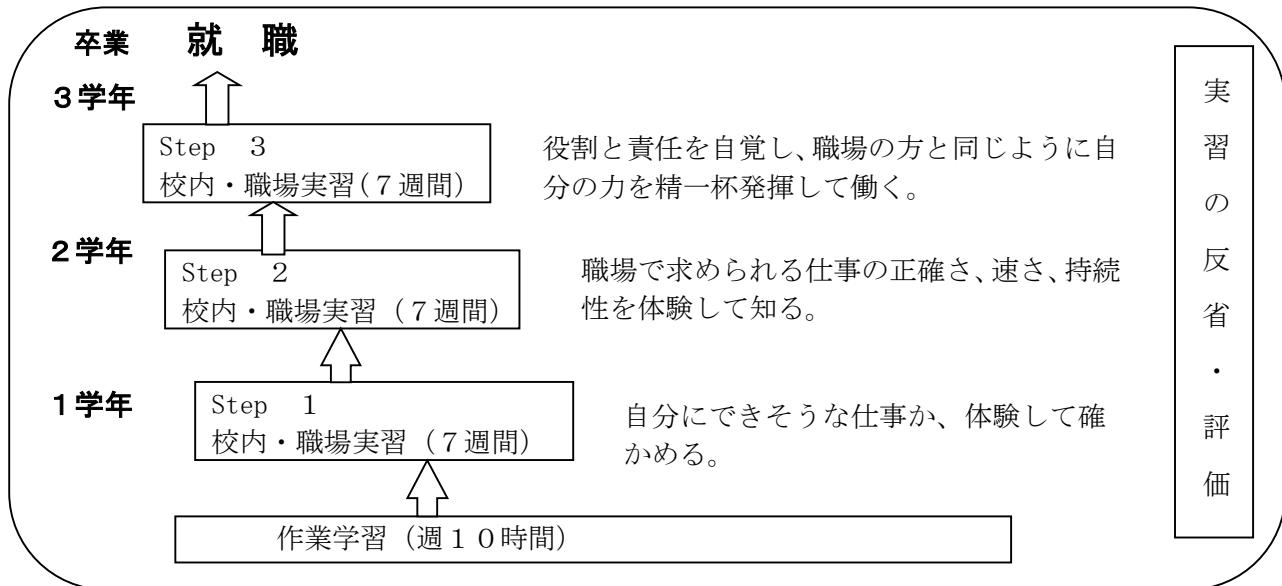
- ア 「作業学習」、「社会生活」、「総合」、「校内職場実習」を中心に、学校生活全体を通して、一人一人のニーズに応じた進路学習の効果的な実践を行う。
- イ 勤労体験、職場実習を通して、望ましい職業観・勤労観を育てる。
- ウ 保護者会で進路決定までの流れを確認し、適宜家庭の協力を得る。
- エ 生徒の実態や実習先について個別懇談等を活用し、保護者と共に理解を図る。

才 会社訪問、福祉サービス事業所ボランティアを推進する。
力 卒業生の就労定着支援を計画的に行う。

(2) 職場実習・校内実習の取組

- ① 進路学習の充実
 - ・全授業共通で、「挨拶・返事・報告」ができるようにするための指導の工夫を推進する。
- ② 職場実習の充実
 - ・個別面談で本人・保護者の進路希望を聞き取り、実習先を決定する。
- ③ 積極的、意欲的な地域との連携
 - ・学校を事業所に見立て、一般的な事業所の日課に沿って終日働くことで、仕事に対する基本的な態度、知識、技能を身に付けさせる。

(3) 就労までの流れ



(4) 進路学習に関連した他教科の取組

- ◎国語・数学・社会生活の学習で、挨拶・礼儀、礼状や挨拶文の書き方、銀行の利用の仕方、キャッシュカードの利用、携帯電話やインターネットの利用とモラルなどを学習する。
- ◎1年生で進路学習を展開し、見学や体験を通して自分の進路や卒業後の生活について考える。

6 校内研究の概要

(1) 研究主題

共に学び、自信を持って将来を切り開く力の育成
生徒の多様な実態に応じた指導・支援の方法と体制の工夫

(2) 研究内容

- ① 課題別のグループによる事例研究を進めながら、実態に応じた具体性で実行性のある適切な指導・支援の方策を検討し実施する。
- ② 各種研修会への実施・参加、最新情報の発信等を通して、生徒の実態把握や課題分析、指導支援に必要な専門性を高める。

(3) 研究の方策

- ① 研究テーマに関する研修の計画・運営をする。
 - ア 事例研修の実施計画を作成・提案し、研修が円滑に行われるよう、主に隔月の全体研修時に、グループ研修や協議会等を設定する。
 - イ 外部講師を招き、各グループのテーマに沿った実態把握や指導・支援に関する研修会を実施する。
 - ウ 事例研修のレポートを集約し、指導・支援の方法や体制についての成果や課題を職員全体で共有する。

② 研修会の実施・調整と最新情報の発信

ア 教員の資質向上を目指した研修会（内・外部講師による）の企画・運営・調整

イ 他分掌と連携した研修会の企画・調整・運営

ウ 校内外の研修会の紹介や参加の調整

エ 職員の希望を取るなどしながら、書籍、資料等の紹介や購入

(4) 実践事項

① 研修の全体計画作成と運営

② 研修会の実施と調整、最新情報の発信

③ 年間指導計画作成の計画立案と集約

7 校時表等

校時表 A・B・Cコース別

校時表	時限	月			火			水			木			金		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
8：40～ 9：00		SHR① (日常生活)	自立 活動 <生活>		SHR① (日常生活)	自立 活動 <生活>		SHR① (日常生活)	自立 活動 <生活>		SHR① (日常生活)	自立 活動 <生活>		SHR① (日常生活)	自立 活動 <生活>	
9：00～ 9：45	1	校内清掃 (日常生活)	自立 活動 <個別>		作業 学習	自立 活動 <生活>		選択	自立 活動 <個別>		国 ・ 数	自立 活動 <生活>		自立 活動 <個別>	自立 活動 <生活>	
9：45～ 10：30	2	LHR (全校朝会) (生徒集会)			自立 活動 <個別>	作 業 (清掃)	自立 活動 からだ なかま	自立 活動 <生活>		家庭 生活	自立 活動 <個別>		自立 活動 <個別>	自立 活動 <生活>		
								10：30～10：35	準備・移動							
10：35～ 11：20	3	保健 体育	自立 活動 <個別>		作業 学習	自立 活動 <個別>	作 業 (清掃)	自立 活動 からだ なかま	自立 活動 <個別>		家庭 生活	自立 活動 <個別>		作業 学習	自立 活動 <個別>	
11：20～ 12：05	4		自立 活動 <生活>			自立 活動 <生活>	国 ・ 数	自立 活動 <生活>	自立 活動 <個別>		自立 活動 <個別>	自立 活動 <生活>		自立 活動 <生活>	自立 活動 <生活>	
12：05～ 12：45		給食 (日常生活)	自立 活動 <生活>		給食 (日常生活)	自立 活動 <生活>		給食 (日常生活)	自立 活動 <生活>		給食 (日常生活)	自立 活動 <生活>		給食 (日常生活)	自立 活動 <生活>	
								12：45～13：15	休憩							
								13：15～13：20	準備・移動							
13：20～ 13：50	5	社会 生活	自立 活動 <個別>		保健 体育	自立 活動 <からだ>		総合	自立 活動 <個別>		社会 生活	自立 活動 <個別>		保健 体育	自立 活動 <からだ>	
								13：50～13：55	準備・移動							
13：55～ 14：40	6	社会 生活	自立 活動 <個別>	国 ・ 数	自立 活動 <ことば>	自立 活動 <ことば>	国 ・ 数	自立 活動 <た りづむ>	自立 活動 <た りづむ>		社会 生活	自立 活動 <個別>		L H R	特別 活動	
14：40～ 15：10		SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>	SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>	SHR② (日常生活)	SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>	SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>	SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>	SHR② (日常生活)	自立 活動 <生活>		

8 令和 7 年度 主な行事予定

4月 7日(月)	新任式・第1学期始業式
4月 8日(火)	入学式
4月 9日(水)	交通安全指導 下校指導
4月 10日(木)	身体計測 聴力・視力検査
4月 11日(金)	1年個別懇談 (~18日)
4月 15日(火)	内科検診 (13:20~)
4月 16日(水)	心臓・結核検診(1年)
4月 18日(金)	新入生歓迎会(3・4限) フリー参観 PTA総会 保護者会(5・6限)
4月 21日(月)	集金引落日(以後月1回)
4月 23日(水) ~ 25日(金)	3年修学旅行
5月 2日(金)	1・2年遠足
5月 8日(木)	尿検査一次
5月 12日(月)	耳鼻科健診(9:30~)
5月 15日(木)	避難訓練(火災)
5月 19日(月) ~6月 6日(金)	前期校内・職場実習
6月 9日(月)	下校指導 歯と口の健康週間 (~13日)
6月 10日(火)	歯科検診(13:20~)
6月 15日(日)	同窓会
6月 25日(水)	眼科検診(13:30~)
6月 30日(月) ~7月 1日(火)	妙高生活体験学習(1・2年)
7月 7日(月)	個別懇談 (~18日)
7月 10日(木)	フリー参観・保護者会

9月 1日(月)	第2学期始業式 下校指導
9月 27日(土)	学習発表会 代休9/29(月)
10月 6日(月)	人権学習週間 (~10日)
10月 15日(水)	フリー参観
10月 20日(月) ~11月 14日(金)	後期校内・職場実習
11月 17日(月)	下校指導 プラッシング旬間 (~28日)
11月 18日(火)	歯科検診(13:20~)
11月 20日(木)	避難訓練(地震・津波)
11月 28日(金)	校外学習(作業祭)
12月 1日(月)	個別懇談 (~11日)
12月 5日(金)	フリー参観
12月 23日(火)	第2学期終業式
12月 24日(水) ~1月 6日(火)	冬季休業
1月 7日(水)	第3学期始業式 下校指導
1月 19日(月)	給食週間 (~23日)
1月 30日(金)	高等部入学選考面接日
2月 2日(月)	下校指導
2月 12日(木)	避難訓練(不審者)
2月 26日(木)	個別懇談 (~3月11日)
3月 4日(水) ~6日(金)	入学体験・説明会 3年生お泣き会・フリー参観

学校教育目標 希望・意欲・自立

「希望」夢と希望をもち、明るくたくましく生きる生徒
「意欲」目標に向かってねばり強く取り組み、前進する生徒
「自立」自ら考え、表現し、進んで行動する生徒

「はぐれい」を合い言葉に
「は」はたらく・ハッスル
「く」くじけない
「れ」礼儀正しく
「い」（仲間と）一緒に



重 点 目 標

社会人として必要な力を身に付け、社会参加と自立を目指す生徒を育成
安定した体調を維持しながら、人とかかわる力や自ら活動しようとする生徒を育成

【Aコース】

- ・社会生活に必要な態度・知識・技能を身に付ける。
- ・人と関わる力を高め、自他を尊重し思いやりの心を育む。
- ・ねばり強く学習活動に取り組み、困難なことにも立ち向かえる気力・体力を養う。
- ・体験学習を通じて見聞や職業を広め、勤労意欲を高める。

【Bコース】

- ・身の回りのことを自分で行おうとする態度を養う。
- ・自分なりの方法で気持ちや要求を表現し、人と関わろうとする態度を養う。
- ・安定した気持ちで健康に過ごせるように、基本的な生活習慣を養う。
- ・自分の役割（仕事）が分かり、継続して行う力を養う。

【Cコース】

- ・学習や日常の活動に自分から進んで取り組む。
- ・友達や周りの大人とかかわる力を高め、コミュニケーションの幅を広げる。
- ・生徒の体調を考慮した教室環境の中で、体調を安定させる。



達成のための努力事項

学習指導

【A・Bコース】

- キャリア教育の視点を生かした学習内容
- 個に応じた支援
- 友達と関わりながら、コミュニケーションのとり方を学ぶ活動
- 目標設定・振り返りの重視と、課題や困難に立ち向かうための励ましや称賛

【Cコース】

- 実態に応じた学習内容
- できた喜びやがんばりの共有
- 実態に応じたコミュニケーション手段で表出し、自分の気持ちを伝える活動の設定

生徒指導

【A・Bコース】

- 社会のルールやマナー、規範意識を高めたり、危険回避のための行動について考えたりする場の設定
- 成就感や自己有用感をもてる活動、互いを認め励ます場の設定
- 生徒の悩みや不安に耳を傾け、全職員で指導

【Cコース】

- 家庭や福祉施設、福祉事務所など関係機関と連携した適切な進路指導

進路指導

【A・Bコース】

- 実体験を通した職業観・勤労観の育成と、働くために必要な事柄の繰り返し指導
- 一人一人の適性把握と、生徒・保護者への進路に関する助言・情報提供

【Cコース】

- 福祉サービス事業所との連携
- 交流学習の推進

学級経営

【A・Bコース】

- 基本的な生活習慣の定着、生活活力の育成等を目指した家庭との連携
- 責任感、互いを尊重し助け合う態度を育む学級づくり

【Cコース】

- 安定した体調の維持を目指した家庭との連携

キャリア教育 ~将来、社会人・職業人として自立していくために~

育てたい能力

人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意志決定能力

地域の支え

(職場実習・作業学習の場の提供)

- ・市内各企業
- ・市内福祉サービス事業所
- ・市役所 等
- (交流及び共同学習)
- ・糸魚川白嶺高等学校
- ・ひすいの里総合学校

保護者の支え

- ・学校と連携した生活支援
- ・障害の理解と受容
- ・将来への展望と進路先情報の共有
- ・P T A事業の取組

関係機関との連携

- ・福祉事務所
- ・ハローワーク
- ・医療機関
- ・相談支援センター
- ・児童相談所
- ・市役所こども教育課 等